

特集

大阪大学 接合科学研究所

第15回 産学連携シンポジウム

「接合って何? Joining & Welding World Resource Innovation」
～ものづくりを支える・変革する～

2018年 5月22日(火)

主催 大阪大学接合科学研究所 大阪商工会議所 一般社団法人 生産技術振興協会

開会のご挨拶



大阪大学接合科学研究所 所長
南 二三吉 氏

接合科学研究所は、溶接・接合分野における我が国で唯一の総合研究所で、「ものづくり」に欠かせぬ溶接・接合技術を科学的視点から捉え、接合プロセス、接合メカニズム、接合デザイン・評価を探索する3基盤研究部門と、ナノ・メゾの視点で材料加工技術の未来を切り開く附属研究センターを両輪として、人類社会のニーズに応える接合科学の発展に努めています。世界的には溶接・接合科学の3大研究拠点の1つとして認知され、特に、溶接分野での近年の学術論文数は世界で群を抜いています。

2009年には文部科学省から「接合科学共同利用・共同研究拠点」として認定され、国内外の大学・中立的機関と質の高い共同研究、拠点間連携研究を推進するとともに、「地域に生き世界に伸びる」を旗幟とした産学共創研究を展開し、革新的なものづくり技術創出のためのイノベーションを推し進めています。

このような研究活動で培った「学術知」を活発に循環し、社会への実装を図ることも重要なミッションであり、接合分野の研究者コミュニティの形成および産学連携強化に努めています。その一環として、毎年「産学連携シンポジウム」を開催し、本研究所のシーズを情報発信するとともに、産業界のニーズを捉えて実社会とのマッチングを探索する絶好の機会としています。

本年度の「産学連携シンポジウム」は第15回目の開催ですが、今回から大阪商工会議所ならびに(一社)生産技術振興協会との共催として開催する運びとなりました。本研究所のユニークな研究シーズを広く社会に発信し、それを産業界の方々に活用いただくには、幅広いネットワークを有する会議所ならびに協会に協力いただくのが大変有効であると考えております。

本研究所の略称はJWRI (Joining and Welding Research Institute) ですが、各文字はJoining & welding, World, Resource, Innovationとも置き換えられ、「ものづくりを支える・変革する」をスローガンに、モノをつなぐ・世界をつなぐ・人をつなぐ・未来をつなぐ活動を行っております。本シンポジウムが産業界との文字通りの「つなぎ」となり、「ものづくり」のイノベーションの発信の場となることを期待しております。